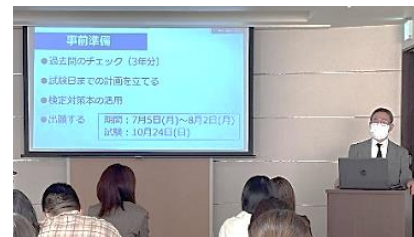


国際日本語教育研究協会 第11回定例会 報告書

開催日時：2021年5月30日(土) 16:40~18:00

開催場所：大阪(メイン)/愛知(オンライン)/東京(オンライン)



◆日本語教育能力検定試験（区分5：言語一般）解法の手引き

(財)国際生涯学習研究財団 日本語教師養成講座 講師 長廻 克叔

今回は、試験日までの心構えや準備についてと、出題範囲「区分5 言語一般」の解き方をテーマに実施しました。日本語教育能力検定試験の受験を予定している方や受験するかどうか迷っている方の一助となればと思います。なお、来年度より出題範囲が変更になるため、過去問での試験対策が十分に可能な本年度の受験をぜひご検討ください。*出題範囲は公益財団法人 日本国際教育支援協会のHPで確認できます。

【心構え・事前準備】

受験する上で知っておくべき概要や試験日までの学習の流れを確認しました。

心構え
この検定試験を受験するのはタフな仕事！
●ほぼ1日に渡る試験 (9:00~16:40)
●構成 (記述以外は全てマークシート方式)
試験Ⅰ：90分 85問 知識の測定 *本日の内容
試験Ⅱ：30分 40問 音声での出題
試験Ⅲ：120分 80問+記述 問題解決能力の測定
●内容が多岐にわたる

事前準備
●過去問のチェック (3年分)
●試験日までの計画を立てる
●検定対策本の活用
●出願する 期間：7月5日(月)~8月2日(月) 試験：10月24日(日)

【解法の手引き】

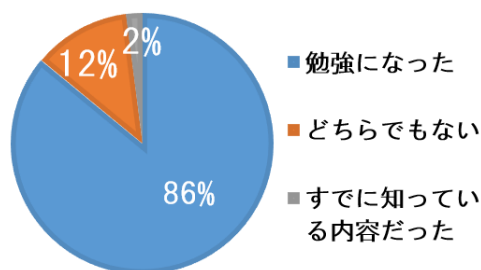
試験Ⅰを中心に、出題形式や出題内容、問題の解き方のコツを解説しました。また、学習に役立つ参考書も紹介しました。

試験Ⅰ 問題1
●ウォーミングアップのような問題
●全15問を瞬時に解いていくことが肝要 *少しでも迷うものがあれば後回し
● 該当項目(問われている知識)は【 】に提示 例：【拍数の変化】【語構成】など

試験Ⅰ 問題2
●誤用を問う問題 (全5問)
●音声・発音から文法までさまざま
●直感勝負
*『日本語誤用辞典』(スリーエネットワーク) 市川保子著 が参考になる

＜アンケート結果＞

① 『日本語教育能力検定試験（区分5：言語一般）解法の手引き』はいかがでしたか



- ・試験の難しさや、計画を立てることの重要性がわかった。
- ・実際の問題を解くことができ、イメージを掴むことができた。また、おすすめの教科書を知ることができた。
- ・直感や消去法で解くことも重要であると教えていただきました。試験に向けて勉強することはもちろんですが、それでも分からない場合はその方法を使おうと思います。

② 本日の定例会全体について、ご意見や感想など

- ・他の区分も全て実施してほしいです。
- ・1人では何から手をつけてよいのか分からないので、こういう機会があるとありがたいです。
- ・普段は参考書を使い、独学で勉強しているので、今年の試験で参考になるようなことがあれば、次回も教えていただきたいです。
- ・本講演を東京でも行ってほしいです。オンラインでは分かりづらい箇所がありました。

③ 今後の定例会で扱ってほしい課題や内容

- ・試験Ⅱ (音声) の対策とコツを知りたい。
- ・海外で日本語教師をしている方々の体験談、海外で授業をするコツなど。